

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成26年度】

(④社会体育施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市南体育館	担当課名	社会教育課
区分		内容・説明		
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市南体育館条例		
	(2)施設設置目的	耐震度の低い大東体育館と大須賀体育館を統合して、非常時の防災機能を備えたスポーツ拠点施設として整備した。		
	(3)施設が有する設備、機能の概要	アリーナ(1,383㎡)、体力測定室(武道場)(303㎡)、トレーニングルーム(114㎡)、観覧スペース(456㎡ 観覧席178席 身障者用4スペース)		
	(4)施設建設年度	平成26年度		
	(5)耐震性能の有無	有		
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)			
	(7)指定管理者名	掛川市体協・ミズノグループ		
	(8)指定期間	平成26年4月1日 から 平成36年3月31日 まで		
	(9)施設の管理運営形態	③指定管理料+利用料金併用制度		
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。	
(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし			
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)		

区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-	73,500	75,680	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	0	0	72,442		
	内訳 (施設・設備ごと)	アリーナ				28,738	
		体力測定室				8,011	
		トレーニングルーム				25,568	
		研修室他				10,125	
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	アリーナ	A平日昼間			39.0%	
			B平日夜間			83.0%	
			C土日祝昼間			82.0%	
			D土日祝夜間			79.0%	
		体力測定室	A平日昼間			31.0%	
B平日夜間					28.0%		
C土日祝昼間					74.0%		
D土日祝夜間					19.0%		
トレーニングルーム		A平日昼間			41.9%		
		B平日夜間			8.0%		
		C土日祝昼間			85.1%		
		D土日祝夜間			16.3%		
						※算出式:利用者数÷営業日数÷4.5回転÷28人	

区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費			249			
	(3)運営日数			344			
	(4)運営人員	①正規職員			4.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員			2.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考	
(1)運営コスト(A)	①人件費			13,772,163	14,112,000		
	②印刷費			288,760	0		
	③通信費			300,977	360,000		
	④事務用品、旅費、図書費など			365,506	150,000		
	⑤借上料			191,946	360,000		
	⑥保険料、消費税(租税公課)等			1,298,310	1,351,000		
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)			1,849,927	1,339,000		
	計		0	0	18,067,589	17,672,000	
	対前年度増減率				-	△ 2.2	

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	15,554,330	25,674,000	
				15,554,330	25,674,000	
	②修繕費			0	100,000	
	③光熱水費			3,501,579	3,500,000	
	④燃料費			25,696	0	
	⑤清掃費			0	0	
	⑥保守点検費			0	0	
	⑦その他(施設消耗品)			863,802	850,000	
	計	0	0	19,945,407	30,124,000	
	対前年度増減率			-	51.0	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		0	0	38,012,996	47,796,000	
(4)合計のうち運営コストの割合				47.5	37.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		0	0	5,220,490		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合				28.9		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設利用料金収入			5,220,490	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)			△ 32,792,506	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)			16,841,000	

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 自主事業の収入			19,909,875	
b) 自主事業の支出			6,552,021	
収支差額 a) - b)	0	0	13,357,854	
c) その他事業の収入			600,000	
d) その他事業の支出			0	
収支差額 c) - d)	0	0	600,000	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	地域のスポーツ拠点として定着するよう、PR活動と施設の利用促進を図ること。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度	90%以上	81.8%	0	
B サービス内容の満足度	90%以上	76.4%	0	
C 従業員対応の満足度	90%以上	88.2%	0	
D 施設安全対策の満足度	90%以上	76.4%	0	
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	91.8%	3	
F 施設の利用者数	73,500人	72,442人	0	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	魅力ある運動プログラムを提供し、利用促進を図ること。 アリーナ、体力測定室の平日昼間の利用者が増える計画を考案すること。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	指定管理者が、各施設毎に「緊急時対応マニュアル」を作成している。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	体育協会とミズノスポーツのお互いの相乗効果
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	13	／33
----	----	-----

V その他自由意見

--